

平成28年度 事業報告
 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

1. 平成28年度助成事業について

(1) 研究助成金の交付

平成28年3月7日の選考委員会の答申を受け、3月22日開催の平成27年度第2回定時理事会で承認された土木分野12件、建築分野11件の計23件について、助成金計2,300万円を4月及び10月の2期に分けて交付した。

	助成者名	所属	研究課題	助成金 (万円)
土 木 分 野	古川 隼士	大分工業高等専門学校	インパルス電圧印加による水系感染症を引き起こす ふん便性微生物の不活性化技術の開発	100
	赤松 憲樹	工学院大学	膜分離活性汚泥法(MBR)における電場利用型ファウ リング防止技術に関する研究	100
	鈴木 祐麻	山口大学	重金属汚染土壌の不溶化処理：酸化マグネシウム による不溶化効果の定量的モデリングおよび 長期安定性に関する科学的知見の提供	100
	奈良 禎太	京都大学	炭酸カルシウムを用いた新しい二酸化炭素固定 化技術とその岩盤破壊修復・エネルギー資源開 発への適用	100
	齋田 倫範	鹿児島大学	干出・冠水が干潟の底質環境に及ぼす影響の評 価	100
	澤田 豊	神戸大学	水路背面土砂の吸い出し機構に関する研究	100
	吉田 圭介	岡山大学	効率的な河道管理を目指した、河川データ同化 法の構築と洪水河川への適用	100
	東 剛志	大阪薬科大学	医療機関の排水を対象にした新規水処理技術の 開発に関する研究	100
	李 漢洙	広島大学	適合格子細分化による沿岸・河川域のための シームレス氾濫モデル開発	100
	岡辺 拓巳	豊橋技術科学大 学	漁港・港湾埋没対策のための港内海底地形モニ タリング手法の開発	100

赤松 良久	山口大学	環境DNAを用いた河川内アユ現存量推定法の開発	100
西村 文武	京都大学	嫌気性アンモニア酸化（Anammox）プロセスにおける亜酸化窒素の挙動ならびに制御に関する研究（継続）	100
土木分野計			1,200

建 築 分 野	助成者名	所属	研究課題	助成金 (万円)
	鵜沼 英郎	山形大学	天然ゼオライトの自己硬化体の高強度化と新規建材・環境材料としての性能評価	100
	浅野 純一郎	豊橋技術科学大学	津波危険地域における開発許可制度による居住誘導に関する基礎的研究	100
	小野 聡子	筑波大学	既存施設を活用した小規模保育施設における空間構成に関する研究	100
	花里 利一	三重大学	熱帯地域世界遺産組積造遺跡の構造・環境モニタリングに基づく保存修復計画	100
	岩元 真明	九州大学	カンボジアの近代建築家ヴァン・モリヴァンの蒸暑気候に配慮した設計手法と建築要素に関する研究	100
	寺本 篤史	広島大学	収縮低減剤によるコンクリートの自己収縮低減機構に関する研究	100
	王 欣	東北大学	スマートデバイスを用いた低コストの建物地震応答観測・解析システムの開発および実験検証	100
	陳 沛山	九州工業大学	1.5層スペースフレームの力学特性に関する研究	100
	五十嵐 豪	東北大学	フライアッシュセメントペーストの水和反応およびその微細構造に及ぼす酸化亜鉛の影響	100
	富永 禎秀	新潟工科大学	CFDによる積雪の屋根形状係数の予測手法とその屋根雪荷重設計への適用に関する研究	100
	小粥 祐子	昭和女子大学	「唐長」所蔵史料による京唐紙の研究ー第1期史料の目録作成と整理・分類	100
	建築分野計			1,100
研究助成総計			2,300	

(2) 国際会議助成金の交付

平成28年3月7日の選考委員会の答申を受け、3月22日開催の平成27年度第2回定時理事会で承認された2件の国際会議について、助成金200万円を6月に交付した。

土木分野	第11回国際コンクリート連合 PhDシンポジウム
責任者	三井住友建設専務 春日 昭夫
期間	平成28年8月29日 ～ 平成26年8月31日 (3日間)
建築分野	IASS2016シェルと空間構造に関する国際会議
責任者	東京大学生産技術研究所第5部 教授 川口 健一
期間	平成28年9月26日 ～ 平成28年9月30日 (5日間)

2. 平成28年度顕彰事業について

(1) 前田工学賞の授与

平成28年3月7日の選考委員会の答申を受け、3月22日開催の平成27年度第2回定時理事会で承認された下記の者に対し平成28年6月3日(金)東京都港区浜松町世界貿易センタービル内東京會館において授賞式を行い、賞状及び賞金(100万円)を贈呈した。

建築分野 富安 亮輔 東洋大学理工学部建築学科
東日本大震災の復興過程における高齢者の居住環境に関する研究

(2) 山田一字賞の授与

平成28年3月7日の選考委員会の答申を受け、3月22日開催の平成27年度第2回定時理事会で承認された下記の者に対し平成28年6月3日(金)東京都港区浜松町世界貿易センタービル内東京會館において授賞式を行い、賞状及び賞金(50万円)を贈呈した。

土木分野 谷辺 徹 太平洋マテリアル(株) 開発研究所
高温化におけるコンクリートの爆裂発生指標とリング拘束試験方法

建築分野 三森 弘 名古屋大学 施設・環境計画推進室
接道規定から見た京都・都心部の路地空間の特徴及び維持・保全に関する研究

建築分野 三宅 拓也 京都工芸繊維大学デザイン・建築学系
近代日本における物産・商品陳列施設に関する私的研究

3. 平成29年度事業に対する広報・募集及び選考活動について

当法人の助成金の交付時期は、研究者の年度計画達成を援助するため、新年度期首に交付している。そのため、標題の諸活動は先行的に平成27年度中に実施している。

(1) 広報活動

- ①土木学会誌、建築雑誌に募集要項を掲載した。
- ②インターネットホームページに募集要項、応募用紙を掲載した。

(2) 募集活動

①全国の土木、建築系の学科のある高等専門学校、大学、大学院に募集依頼と募集要領を送付した。

(3) 選考

①研究助成について

土木分野46件、建築分野45件の応募があった。

応募課題に対し、1件当たり3名の選考委員で、定められた評価要素につき第一次審査を行い、平成28年12月12日(月)開催の第1回選考委員会において、土木分野20件建築分野19件を第二次審査に付すこととした。

第二次審査は、全選考委員による審査結果に基づいて、平成29年3月7日(火)開催の第2回選考委員会において、土木11件、建築12件の候補者を選定し、青山選考委員長から岡村理事長に報告した。

理事長はこれを、3月15日(水)開催の平成28年度第2回定時理事会に議案として上程し、出席理事全員一致で助成を決定し、その後申請者に通知した。

なお、3月末に建築分野助成研究者1名より、助成辞退の連絡があったため、助成件数は合わせて22件となった。

②国際会議助成について

土木系分野2件、建築系分野2件の計4件の申請があった。

第1回選考委員会において、申請された4件全てを詳細に審査することとし、その結果を基に第2回選考委員会において選考した。

選考の結果、土木分野1件、建築分野2件の計3件の国際会議を助成候補とすることとなり、理事長に報告した。

理事長はこれを、3月15日(水)開催の平成28年度第2回定時理事会に議案として上程し、出席理事全員一致で助成を決定し、その後国際会議責任者に通知した。

③前田工学賞・山田一字賞顕彰について

応募状況は、土木分野8件、建築分野14件の計22件であった。

ア、応募にあたって提出された学位論文の内容要旨及び論文業績について出席した選考委員全員によって、定められた評価要素を勘案し、一次審査を行った。

平成28年12月12日(月)開催の第1回選考委員会において、土木分野では5件、建築分野では6件の計11件を2次審査に付すこととした。

イ、2次審査は、学位論文本文の提出を受け、これを委員全員で審査した。その結果を平成29年3月7日(火)開催の第2回選考委員会において審議し、前田工学賞として、土木、建築分野でそれぞれ1名、山田一字賞について、土木分野で3名、建築分野で2名、合計5名の候補者を選定し、青山選考委員長より岡村理事長に報告した。

ウ、理事長はこれを、3月15日（水）開催の平成28年度第2回定時理事会に議案として上程し、出席理事全員一致で顕彰を決定し、その後申請者に通知した。

平成29年度前田工学賞受賞者

土木分野：阿久井 康平 氏

建築分野：樋渡 彩 氏 以上2名

平成29年度山田一字賞受賞者

土木分野：伴野 雅之 氏

土木分野：アタチャヤウツ, アヌワット 氏

土木分野：廣井 慧 氏

建築分野：岡村 健太郎 氏

建築分野：堀川 真之 氏 以上5名